

2022年1月5日

船井電機株式会社

2022年 年頭所感について

2022年の年頭に際し、当社代表取締役会長兼社長 板東 浩二の社員向けの所感を以下の通りお知らせいたします。

過去にトラわれず、新しいことにトライ

船井電機の社員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。
会長兼社長の板東です。今年の干支は寅です。
この「トラ」にならって、一言皆さんにお願いしておきたいことがあります。
それは
「過去にトラわれず、新しいことにトライ！」
ということです。

船井電機に来てから経営幹部を含めた社員との会話において、「何をどう変えていけばいいのか」あるいは、「新しい取り組みとして何をすればいいのか」と質問をしても、いろいろな問題点を列挙して「それはできません」「それは止めた方がいい」という反応が多いことが常に気になっていました。この「できない」という言葉は船井電機の中では、これから極力、使わないようにお願いしたい。「できない」ではなく、いろいろ問題はあるが「このような条件が揃えばできる」「これくらいのお金と時間をかければ可能」といった発想に切り替えていく必要があります。そうでなければ何も変えられませんし、新しい商品、サービスも出てきません。

昨年末、コンシューマー向け新商材の市場投入やB to Bビジネスの検討を行う新組織、BSI事業部（Business Solutions & Innovation）を立ち上げました。今は10名程度の組織ですが、今後さらに強化していく予定です。また、新規ビジネスの開拓促進及びアライアンス先との連携強化を図るとともに、広報・宣伝活動の強化を図るため昨年末に東京支店を母体として東京本社を設置いたしました。やはりお金も人材も技術も情報も東京に集まってきます。これからの時代、一社だけでは何もできません。強力なビジネスパートナーが必要です。時代の流れを感じ、新たなアライアンス先を見つけるためにも東京本社が必要と考えました。ちなみに大阪本社はそのままとし、2本社体制となります。

会社も人も新しいチャレンジをやめた時から保守的になり、衰退していきます。新しいことにチャレンジすることにより最先端の人たちとも出会うことができ、多くのことを学び、成長することができます。これから船井電機にもいろいろなことにチャレンジしている人たちに来てもらって講演してもらい交流する機会も作っていきます。

船井電機に来て最初に「Active & Smart」というキャッチフレーズを掲げました。今年はそのを船井電機の価値観、イメージとして作り上げていく年と位置付けていますのでよろしくをお願いいたします。